



手話は、ろう者にとっての “ 言語 ” です。



毎年9月23日は「手話の日」・「手話言語の国際デー」
～International Day of Sign Language～

【手話言語の国際デー】

2017(平成29)年12月19日に国連総会で9月23日が「手話言語の国際デー」と定められました。

この日は、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権を守ることを目的としています。

日付は、1951(昭和26)年9月23日に世界ろう連盟(WFD)が設立された日に由来します。

【手話の日・ブルーライトアップ】

日本でも、2025(令和7)年6月18日に「手話に関する施策の推進に関する法律(手話施策推進法)」が成立し、同法に基づき、9月23日が「手話の日」として定められ、この前後に「世界平和」を表す青色が、日本、世界各地の建物やランドマークを照らします。(ブルーライトアップ)

【国際ろう者週間】

「国際ろう者週間」は、世界ろう連盟が主導のもと、1958年9月にイタリアのローマではじまりました。

そして、第1回 世界ろう者会議が開催された月を記念して、毎年9月の最終週(月曜日から日曜日)を「国際ろう者週間」としています。



9/18～9/24
京田辺クロスパークの
エントランスをブルーで
彩ります。



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES